

日本語版

True Peace

Vol. 44

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一國 12年

天曆 2月

2024年 陽曆 3月



巻頭言

真の父母様のみ言

真の父母様の動静

特集

HJ NEWS

天心苑と一つになった神南米の PURE WATER

天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年天一国敬礼記念式

天の父母様に向かう孝子・忠臣・聖子の道理を果たそう

2024 甲辰年 天曆新年の宴

天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年天一国敬礼記念式

神統一韓国と神統一世界のためのデスバレー特別聖塩伝授式



天心苑と一つになった神南米の Pure Water

キム・ドンウ 神南米大陸会長



全世界の食口の皆さん、こんにちは！

真のお母様は、真のお父様の天宙聖和以後 40 日間、特別に侍る精誠を尽くされ、「統一家の信仰的復興」と「天一国の実体的建設」を目標に前進して来られました。

また、夜も眠られない中で、家庭連合が真の父母様を中心に、神霊と真理で一つになって復興した草創期時代に戻らなければならないというみ言をくださり、天心苑摂理を強調されました。

2023 年の 1 年間、神南米ブラジル天心苑では、真のお母様の「天心苑と一つになれば驚くべき役事が起きる」というみ言を中心に、一世・二世が一つになって 6 ヶ月間休まずに、新規食口伝道活動に邁進しました。そしてこの期間、1000 回の呼名祈祷も共に行いました。

天心苑の役事を絶対的に信じて従った結果、2,400 人以上が家庭連合の入会願書を書くという、驚くべき奇跡が起きました。諦めずに心を尽くして祈れば、天の父母様を中心に霊界の真のお父様と地上の真のお母様が役事してくださるという奇跡を経験したのです。

その後も奇跡は続きました。当初、神南米青年学生孝情 21 日特別修練会 (陽 2.1~2.23、HJ 天宙天寶修鍊苑) を開催し、130 人だった修練生が天心苑の祈祷を通じて 300 人まで増えました。彼らは現在、真のお母様のみ言と一つになって未来人材に成長するための教育を受けています。

その後も天心苑の役事を通じて、神南米ブラジル家庭連合は毎日が新しく貴い日になっています。天心苑の役事を許諾してくださった真のお母様の摂理の結果が目の前に広がり、天一国 12 年からは天心苑を中心とした摂理歴史を新しく出発することになりました。現在、このような天心苑摂理は神南米ブラジルで万能キーとなってしまいました。

愛する全世界の食口の皆様！

神南米ブラジルで、2,400 人以上が新規食口として短い期間内に入教するという事実は本当にとてつもない役事です。また、若い青年約 300 人が、韓国に位置する HJ 天宙清平修鍊苑に来たこともやはり奇跡の中の奇跡です。

毎日のように途方もない奇跡が繰り広げられるこの歴史的なひと時に、真のお母様のみ言を中心に、私たち皆が天の父母様と真の父母様が許諾された、この貴重な時であることを正しく認識し、神霊と真理で生まれ変わるために伝道、また伝道することにすべての精誠と時間を投入してみてください。確実に天の父母様と真の父母様が願われる、天一国安着勝利のために前進されるならば、必ず天は皆さんの努力に激励と応援と勝利の結果を抱かせてくれるでしょう。私たち神南米ブラジルもやはり、真のお母様と一つになって奇跡の役事を起こすために努力致します。どうか見守ってくださり、応援してくださることを願います。ありがとうございます！

CONTENTS



巻頭言

- 02 天心苑と一つになった神南米の
PURE WATER
キム・ドンウ 神南米大陸会長

特集 1

- 天地人真の父母様聖誕および
天一国基元節 11 周年記念行事
- 10 天一国敬礼記念式
- 12 天地人の真の父母様、
聖誕記念午餐会
- 14 2024 神トップガン特別祝福式
- 18 天地人真の父母様主管
神 TOPGUN 第 1 期出征式
- 20 天地人真の父母様主管
2024 天一国指導者総会
- 22 キリスト教圏復帰のための
真の父母神学講義案開発
第 2 回公聴会
- 23 孝情天寶特別大役事

特集 2

- 26 神南米青年学生
孝情 21 日特別修練会

HJ NEWS

- 29 神統一韓国と神統一世界のための
デスバレー特別聖塩伝授式



真の父母様のみ言

04 祝福の意義と価値

天聖經 第十一篇 第三章 二節

06 天の父母様に向かう

孝子・忠臣・聖子の

道理を果たそう

天地人真の父母様聖誕および

天一国基元節 11 周年天一国敬礼記念式

真の父母様の動静

- 08 2024 甲辰年 天曆新年の宴

- 30 UPF INTERNATIONAL、
リベリア・タイ・カンボジアで
平和の基盤構築
- 32 国際宗教の自由サミット 2024
- 34 世界日報創刊 35 周年記念式
- 36 HJ 一和タワー 奉献式
- 38 第 3 回国際孝情学術大会

説教

39 「邪必帰正」

何事でも結局は正しい

道理に従って帰る

天苑大教会 チョン・ソンミン 教会長





祝福の意義と価値

天一国經典 天聖經 第十一篇 第三章 第二節

祝福とは、個人を完成し、善を完成し、子女を繁殖するためのものです。個人完成、相対完成、その次は善の繁殖です。それが人間にとって核心的で、根本的な要件です。

アダムとエバが墮落しなかったならば、彼らの縦的、横的愛の理想の焦点、すなわち和合の一体的角度を合わせて一つになる場が形成されたでしょう。その場が、人類の真の先祖の愛の設定とともに真の生命の起源が設定され、真の血統の起源が設定される所です。これは、人間だけではありません。人間の心に神様が入ってきて、外的な神様と内的な神様が一つになる結婚式になるのです。それが墮落していない本然の結婚式です。これは、宗教世界において革命的な言葉です。

祝福とは何でしょうか。男性が東だとすれば、女性は西だと言えますが、東と西が平衡の取れた線上で、中心点を中心にして一つに結束するのです。一つに結束させるその力は何でしょうか。愛です。愛によって一つにさせるために、男性と女性を

造ったのです。そのため、男性と女性が成熟したあとには、必ず互いになつになれる道を訪ねてくるのですが、それが中央点です。その中央点に神様が縦的に臨むことができるのです。

水平線の中で、縦的な九〇度を中心として、三六〇度の中央に連結される位置で神様の愛を中心とすれば、男性と女性が一つになれるのです。神様の愛を中心として一つになったならば、人間始祖は神様の体になります。アダムとエバは何者でしょうか。実体をまとった神様の体になるのです。それで、コリント人への第一の手紙に、「あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか(三・一六)とあるのです。私たちの体は神様の聖殿です。墮落した人間が聖殿になれるのであれば、墮落していない本然のアダムとエバは、もちろん自然に神様が臨在できる人間世界の本聖殿になったでしょう。

神様は、プラスとマイナスの二性性相としていらっしゃいます。

神様のプラスを分立させたのが男性のアダムであり、マイナスを分立させたのが女性のエバです。そして、アダムとエバを合わせた結実体が子女です。このように、神様を中心として一代、二代、三代が形成されるのです。この三代の中で問題が起こったのが何代かといえば、二代目のアダムとエバの代です。アダムとエバが神様の愛を中心として一つになれませんでした。もし、アダムとエバが神様の愛を中心として一つになっていたならば、神様が臨める関係が決定されるので、子女にも神様と関係を結べる愛の基準が連結されていたでしょう。それを祝福と言うのです。

統一教会の祝福は、神様の生命と神様の愛と神様の理想の無形の体が、実体で顕現するためのものです。神様の生命と愛と理想を連結させるためのものが祝福です。ですから、神様はどこで喜ばれるのでしょうか。祝福の場で喜ばれます。それによって神様の生命が躍動し、愛が躍動し、理想が躍動するのです。🌸





天の父母様に向かう 孝子・忠臣・聖子の道理を果たそう

天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年天一国敬礼記念式のみ言
天一国 12 年 天曆 1 月 6 日 (2024.2.15) | 天正宮博物館



天の父母様の大きな愛と御加護の中で、この日を迎えられることを、
限りなく天の父母様の前に感謝と栄光を捧げます。
また、全世界の統一家の食口たちの願いとその精誠もまた、天がこのひと日を通じて
地上の天の父母様の環境圏を広げ、本来、創造主が願っていた地上天国の生活を、
真の父母と子女たちと共に夢見て来られたその事情が、
6000年ぶりに真の父母によって、地上で実現されつつあります。
天の父母様に侍り、神統一韓国、神統一世界へと向かう
力強い足取りで進んでいるこの甲辰年、
青龍の年に、我々祝福家庭は皆、平和大使はもちろん、
全世界の多くの義を重んじる人々が天の声を聞いて、
天の前に今までの親不孝だったすべての内容を吹き飛ばし、
希望に満ちた未来へ向かった、天の父母様に向けた、
孝子、忠臣、聖子の道理を果たすことができるように願います。
家庭連合のすべての食口たちが、責任を全うする位置で、
健康に、摂理の完成に向けて、前進していくことを祝願します。🌸

2024 甲辰年 天曆新年の宴





天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年 天一国敬礼記念式

「天地人真の父母様聖誕天一国基元節 11 周年天一国敬礼記念式」が、天一国 12 年天曆 1 月 6 日（陽 2.15）、天正宮博物館に真の父母様をお迎えし、文孝進家庭、文興進家庭、鄭元周（チョン・ウォンジュ）総裁秘書室第 2 室秘書室長、宋龍天（ソン・ヨンチョン）世界平和統一家庭連合世界会長、李基誠（イ・ギソン）HJ 天宙天寶修鍊苑天心苑長、宋光爽（ソン・グァンソク）世界平和統一家庭連合神韓国協会会長および天一国指導者約 700 人が参加した中で厳粛に執り行われた。

敬礼記念式は、宋光爽神韓国協会長の司会で、ろうそく点火、開会宣言、天一国歌斉唱、家庭盟誓、報告祈祷（李基誠 HJ 天宙天寶修鍊苑天心苑長）、敬礼、聖餐、真の父母様のみ言、億万歳三唱（梁昌植 UPF 世界議長）、閉会宣言の順で行われた。

真のお母様は「希望に満ちた未来に向けた、天の父母様に向かう孝子、忠臣、聖子の道理を全うする人類になることが出来るように、私たち統一家の家庭連合のすべての食口は、責任を全うする場で健康で、元気に摂理の完成に向けて前進していこう！」という激励と祝福のみ言を下された。





李基誠（イ・ギソン）天心苑長は報告祈禱を通じて、「2024 甲辰年の青龍の年、青龍が飛翔するためには如意宝珠を銜えなければならないように、絶対に真のお母様と一つとなって Vision2025 を勝利する」と切に祈った。

この日、天一国敬礼式は、1）霊・肉界真の家庭代表、2）世界宣教国代表（神韓国、神日本、神アフリカ、神ヨーロッパ、神中南米、神アジア太平洋）、3）霊・肉界祝福家庭代表の順で行われた。

続いて、真のお母様が昨年1年間にくださったみ言上映後、参加者たちは、梁昌植 UPF 世界議長の音頭で、億万歳三唱で、天一国創建に向けた神統一韓国、神統一世界完成のために前進することを決意した。🌀



天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年 天地人の真の父母様、 聖誕記念午餐会

「天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年天地人真の父母様聖誕記念午餐会」が天一国指導者約 300 人が参加する中で行われた。

真の父母様が入場された中で始まった記念午餐会は、キム・シナン総裁秘書室第 2 室事務処長の司会で、開会宣言、敬礼、花束捧呈、報告祈祷、勝利提議、記念午餐、孝情文化公演（大陸別・イ・ガヨン 2 世）、億万歳三唱、閉会宣言の順で行われた。

神アメリカの金起勳（キム・ギフン）天議苑長は報告祈祷を通じて「奇跡の役事を起こしておられる、真の父母様を中心に、ビジョン 2025 に向かって全世界の食口が指導者と一つになって、絶対信仰・絶対愛・絶対服従の姿勢で神統一韓国を、必ずや天の父母様に奉献して差し上げることができるという、決意ができる場を準備して下さり、心より感謝申し上げたい」と伝えた後、「参加した全体はもちろん、全世界の食口皆が、総団結して前進していくことを改めて誓いますので、共にして下さい」と切に求めた。

文妍娥（ムン・ヨナ）総裁秘書室第 1 室秘書室長の勝利提議後、本格的に午餐会が始まった。

同日の聖誕記念午餐会は、キム・ドンウ神南米大陸会長の「ビジョン 2025」に向けた決意の億万歳三唱で幕を閉じた。🎐





天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年 2024 神トップガン特別祝福式

「天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 11 周年 2024 神トップガン特別祝福式」が天一国 12 年天曆 1 月 6 日（陽 2.15）を迎え、HJ 孝情文和苑文和ホールで、約 1,500 人が参加する中で行われた。194 ヲ国でオンライン生中継された同日の行事は、第 1 部「天地人真の父母様聖誕および天一国基元節」11 周年記念式、第 2 部「2024 神トップガン特別祝福式」の順で行われた。

天地人真の父母様聖誕および天一国基元節11周年

第 1 部の記念式は、宋龍天（ソン・ヨンチョン）家庭連合世界会長の司会で、開会宣言、天一国歌斉唱、報告祈祷、聖誕記念映像上映、真の父母様入場、敬礼、花束捧呈、ケーキカット、孝情文化特別公演の順で行われた。



本式に先立ち、宋龍天世界会長は、天地人真の父母様の血と汗の滲んだ生涯路程を証しし、真の父母様が立てられた孝情の伝統を相続し、心を尽くし、誠を尽くして、絶対信仰、絶対愛、絶対服従の心情で最高の孝を奉献しなければならないと強調した。



堀正一神アジア太平洋大陸総会長は報告祈祷を通じて、「真のお母様は摂理的に難しい時期に天心苑祈祷会と真の父母様の本質の理解、神トップガンという大きな贈り物を下さった。新しい歴史を出発させてくださった真の父母様の恩賜の前に感謝し、人類の前に真の父母様を証しする皆になることを誓いますので、導いてください」と懇願した。





特別にこの日の聖誕記念映像は「神統一世界安着に向けて」という主題で、真の父母様ご夫妻の偉大な生涯路程と業績を込め、ハンジュエンターテインメントが準備した孝情文化特別公演は天地人真の父母様、特に独り娘真のお母様とその摂理的意味を深く盛り込んだ感動的なストーリーと音楽で演出された。

真の父母様が舞台に入場されると、家庭連合の一世圏代表、二世圏代表、二世・三世の孝童たちが代表として花束を捧呈した。全世界の祝福家庭を代表して参加した食口たちは「聖誕祝賀の歌」を歌いながら、真の父母様の聖誕および天一国基元節 11 周年をお祝いし、感謝と決意を捧げた。



神トップガン特別祝福式



天一国祝福家庭として参加した。

記念式に続き、真の父母様の主礼で、神トップガンの特別祝福式が、金東宴（キム・ドンヨン）神韓国副協会長とハン・ユギョン青年特使の司会で盛大に行われた。この日の祝福式にはアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、アルバニア、ポルトガル、ザンビアなどに世界宣教に行く新郎新婦約 70 組が

同日の行事は孝情文化公演、開会宣言、付添人入場（12 組）、主礼入場、聖水儀式、聖婚問答、祝祷、礼物交換、聖婚宣布、花束捧呈、祝歌、億万歳三唱、閉会の順で行われた。

開会宣言後、熱い感謝と栄光の拍手で、実体聖霊、独り娘であられる真の父母様の主礼入場が始まった。

聖水儀式は、真の父母様が壇上に上がった新郎新婦代表 7 組に聖水を撒かれ、全体的に同時に行われた。聖婚問答は伝統に従って、天一国が指向する理想家庭を完成することを尋ねる主礼の問いに、新郎新婦たちが大きな歓声で「はい」と答えることによって成立した。

この日、真の父母様は祈禱を通じて、「天の父母様が『喜んでお祝いし、愛している』と言うことのできる環境圏を作る上で、精誠と努力を尽くして祝福家庭の二世圏が全世界、80 億人類に向かって祝福を与える、歴史的な出発をする祝福の日となりますので、天の父母様が喜んでお受けください」と祝福の祈禱をしてくださった。

礼物交換の手順は、真の父母様が壇上に上がった新郎・新婦代表 7 組に結婚指輪を下賜して下さることにによって成立した。新郎・新婦がお互いに祝福指輪をはめることで、天の父母様と真の父母様を通じて永遠なる夫婦の縁を結び、真の愛と真の生命と真の血統の伝統を守る家庭になることを誓った。続いて、真の父母様は「天の父母様と天地人真の父母様の恩賜で、宇宙の前に聖婚が成立したことを宣言」されることにより、2024 神トップガン特別式に参加した、約 70 組の善男善女たちは祝福家庭として第一歩を踏み出すことになった。

同日の全体行事は、パク・エリ、ポップイン・ヒョンジュン夫妻の祝歌後、デミアン・ダンクリー神アメリカ大陸総会長の億万歳三唱で幕を閉じた。✧





天地人真の父母様主管 神 TOPGUN 第 1 期出征式

「天地人真の父母様主管 神 TOPGUN 第 1 期出征式」が天一国 12 年天暦 1 月 13 日 (陽 2.22) HJ 天宙天寶修鍊苑大講堂で 424 人の神 TOPGUN をはじめ天一国指導者、神韓国青年公職者などが参加する中で行われた。



金東宴 (キム・ドンヨン) 副協会長の司会で行われた公式行事は、開会宣言、花束捧呈、報告祈祷、映像上映、書信朗読、決議文宣誓、み言、特別聖塩およびバッジ下賜、神 TOPGUN 特別公演、億万歳、閉会の順で行われた。

真の父母様はみ言を通じて「天の父母様をお迎えした人類一大家族世界は必ず成就する。神 TOPGUN は、真の父母によって祝福されたあなた達の父母を通じて生まれたピュアウォーターだ。ピュアウォーターはより高く、より広い世界に流れ、墮落した世界が澄んだ水であるあなた達を通じて浄化され、世界が真の父母を知り、天の父母様に侍ることができる環境圏を広げなければならない」と語られ、「私が天上に行く時が来れば、ピュアウォーターであるあなた達が私と一つになって『天の父母様に侍ることができる環境圏を、80 億人類の中にこれだけ広げました』と言える誇りを持っていきたい」と激励してくださった。

宋龍天世界平和統一家庭連合世界会長は、報告祈祷を通じて、「この場に首を垂れた神 TOPGUN たちは『天の父母様が実存されていること』と『真の父母様による人類一大家族の夢』を全世界人類に知らせるために、天のピュアウォーターとして世界宣教に出ることになりますから、寝ても覚めても、懇切なる真のお母様の天と父母様に対する孝情を、皆が心を一つに、同じ目的を持ち、すべての精誠、あら

ゆる努力を尽くして、必ずそのみ旨を叶えることが出来るように、役事してください！」と懇願した。

パク・ミンジョン宣教師は書信朗読を通じて「何も恐れないでください。天の父母様を信じてください。私たちは種さえ撒けばよいのです。私たちはただ許諾された種を心から撒くことだけに集中すれば良いです。私たちが共に、天心で天の父母様と天地人真の父母様に尊貴と栄光の賛美を捧げる、偉大な宣教の業績を共に作っていきましょう」と伝えた。

この日の花束捧呈は神 TOPGUN 全体を代表して「チャン・ユンソン、ミッシェル・ベア」修練生が捧呈し、決意書宣誓は神 TOPGUN の「クォン・ジョンヒョン、リナ・バレダ・シルバ」が行った。続いて、デスバレー特別聖塩およびバッジの下賜は、全世界の大陸会長と神ヨーロッパに派遣される文信出、神アメリカに派遣される文信興、神アフリカに派遣されるナカイ・リオ神 TOPGUN に全体を代表して授与された。

神 TOPGUN の特別公演に続き、参加者は松田幸士青年学生連合世界会長の先唱で、億万歳三唱を通じて、「真のお母様と完全に一つになって必ず勝利し、天の父母様と真の父母様に喜びと栄光を捧げる」と決意した。

特別に、真のお母様は出征式に参加した神韓国青年公職者と神南米の学生たちまでも激励され、皆が一つになることの出来るユンノリで、全体を祝福し





てくださった。

真の父母様は天一国安着を宣言された VISION2020 の祝勝会で、真の家庭の3代圏である文信出、文信興生徒を含む「鮮文UPA」摂理を進行された。卒業を控えた鮮文UPAの1期生たちに「世界宣教」の使命を付与され、1975年、世界宣教に送られた「TOPGUN」の伝統を継承した、「神TOPGUN」の名を下賜してくださり、世界宣教派遣を命じられ、今後この路程は全世界青年、未来世代の公式路程として定着すべきであることを強調された。UPAを越えて全世界の統一家の青年たちの摂理として祝福して下さった。

同日、真の父母様主管「第9期天一国青年特使任官式」が行われた。この3年間の厳しい教育訓練と厳格なインターンシップ教育を通じて、天一国青年特使として命じられた20人の士官生徒たちは、真の父母様の希望の実体になることを決意し、孝情の指導者としての第一歩を踏み出した。

この日真のお母様は、第9期天一国青年特使に「天地人真の父母様の代身者、代死者、代役者として絶対信仰、絶対愛、絶対服従の姿勢で忠孝の道理を尽くし、全世界に天の父母様と真の父母様のみ旨を広げて欲しい」という意味での、辞令状と指輪を下賜して下さった。☞



天地人真の父母様主管 2024 天一国指導者総会

天地人真の父母様主管「2024 天一国指導者総会」の開会式が天一国 12 年天曆 1 月 14 日、HJ 天宙天寶修鍊苑大聖殿で盛大に行われた。



宋龍天世界平和統一家庭連合世界会長の司会で行われた開会式は、開会宣言、天一国歌斉唱、家庭盟誓、報告祈祷、記念映像、敬礼、花束捧呈、ケーキカット、真の父母様のみ言、出征決意式、孝情文化公演、億万歳三唱、閉会の順で行われた。

真のお母様はこの日のみ言を通じて「天苑宮天一聖殿を 1 年後に控えて奉獻準備をするこの時点で、墮落した人類 6000 年の歴史によって天の前に不忠不孝だったけれども、真の父母によって天の父母様が地上に訪ねて来られるその日を迎え、全世界の指導者であられる皆様が天の父母様を栄華に、天の父母様が『真の父母と共に苦勞だった、ありがとう』と言われることのできるそのような場を準備して差し上げなければならない」と強調された。続いて「創造主天の父母様の願いは、人類が地上で真の父母に出会うことだ。真の父母を通じて子女たちを愛されたいということである。そうであるならば、皆さんが誇るべきお方は地上の初臨の独り娘、平和の母、宇宙の母である」と語られた。また「このとてつもない真実を世の前に知らせることによって、共に体恤し、共感し、受け入れることができる日を早めることのできる、そのような努力と精誠を尽くすことの出来る指導者たちになることを願う。それによってキリスト教復帰はもちろん、国家の復帰、神統一韓国、神統一世界に力強く前進する皆様、指導者祝福家庭の皆様になることをお祈りします」と激励された。





宋光夷神韓国協会長は報告祈禱を通じて「天の父母様、摂理の完成時代を切り開くために、キリスト教の復帰を命じられた真のお母様のみ言に従って、天一国指導者たちは、独り娘、実体聖霊、真のお母様の命を受け、2024年、青龍の年に、6000年ぶりに誕生した初臨の独り娘、真のお母様の位相と価値を私たちの魂に刻み、必ず勝利できるように共にしてください。天苑宮入宮を完全に天の前に奉献することのできる私たちになりますので、天がすべてを主管してください」と懇願した。

続いて、尊貴と栄光と大きな感謝の気持ちを込めて、全体を代表して、リカルド・デ・セナ神中米 UPF 議長と、シモン・ペラボリ神南米 UPF 議長が花束を奉呈した。

出征決意式は、天一国 13 年、天苑宮天一聖殿入宮勝利を力強く決意する、天一国指導者全体の思いを込めて、全世界の大陸会長が「天一国指導者出征決意文」を真の父母様に捧呈した。

天一国指導者総会の開会式に出席したすべての指導者は、デミアン・ダンクリー神アメリカ総会長の億万歳三唱を通じて、天地人真の父母様に深い感謝と決意を捧げた。

開会式後、「2024 年天一国指導者総会」がオム・ユンヒョン 世界本部企画調整局長の司会で、開会宣言、報告祈禱（大塚克己・神ヨーロッパ UPF 共同議長）、歓迎の挨拶（文妍娥総裁秘書室第 1 室長、鄭元周総裁秘書室第 2 室長）、激励の挨拶（李基誠天心苑長）、世界 UPF 活動および戦略発表（梁昌植・UPF 世界議長）、大陸別優秀事例および 2024 戦略発表（神韓国、神日本、神北米 1、神北米 2、神アフリカ、神ヨーロッパ、神中米、神南米、神アジア太平洋）、世界本部戦略発表および祝禱（宋龍天世界会長）、億万歳三唱（梶栗正義神日本 UPF 議長）、閉会の順で行われた。🙏



キリスト教圏復帰のための 真の父母神学講義案開発第2回公聴会

キリスト教圏復帰のための「真の父母神学」講義案開発の第2回公聴会が、天一国12年天曆1月10日(陽2.19)、天城旺臨宮殿3階(会議室)で開かれた。

公聴会は12月に、真のお母様がくださった「キリスト教が眠りから覚めなければならない。キリスト教の歴史において明らかにすべき天の父母様の本質と、これまでに知らなかった真の父母様の本質、そして2000年のキリスト教摂理歴史の真実を明らかにしなさい」という貴重なみ言の下、1) 真のお母様が明らかにされた摂理の真実をキリスト教圏に悟らせ、摂理完成への道を短縮し、2) 天一国時代を生きていく祝福家庭と未来世代指導者に、真のお母様と一つになった絶対信仰の道として教育し、3) 海外宣教を出発する神トップガン達にキリスト教を復帰するみ言のツールとして活用する目的として準備された、意義深い場であった。

ロバート・キttl神アジア太平洋天議苑長をはじめ、36人(天正宮本部、神韓国協会、大陸本部、UPF および摂理機関、神学大学教授)の天一国指導者たちは、キリスト教圏復帰のための真の父母神学講義案の開発に強い熱意を示した。

公聴会は開会宣言、敬礼、報告祈祷、開会の挨拶、発表Ⅰ(質疑応答)、発表Ⅱ(質疑応答)、発表Ⅲ(質疑応答)、発表Ⅳ(質疑応答)、発表Ⅴ(質疑応答)、発表Ⅵ(質疑応答)、総合討論、み言(宋龍天世界会長、マイケル・バルコム神欧州大陸会長)、閉会宣言の順で行われた。



天地人真の父母様聖誕及び天一国基元節 11 周年記念 孝情天寶特別大役事

「2024 天地人真の父母様聖誕及び天一国基元節 11 周年記念孝情天寶特別大役事」が天一国 12 年天曆 1 月 7 日から 9 日（陽曆 2 月 16 日～18 日）まで、2 泊 3 日にわたりインターネット放送（8 ヶ国語）で世界各地の食口も参加する中、恩恵の中で挙行された。

孝情天寶特別大役事は、2 月 16 日から 9 日間行われた真の父母様聖誕及び基元節記念行事の一環として「神トップガン第 1 期出征式」を含む主要行事が行われる期間で同時に行われた。

出発祈禱会

大役事の恩恵を受け、霊肉界がますます共鳴する中、天心苑特別徹夜精誠の火種を全世界に伝えるため、天心苑特別徹夜精誠がオンラインとオフラインで行われた。

大役事初日（2 月 16 日）の午後 10 時から翌日午前 2 時まで、キム・ジョンジン企画局長の司会で第 971 回天心苑特別徹夜精誠が行われた。この日の徹夜精誠は、天の父母様と天地人真の父母様に報告する出発祈禱会として、開会祈禱、天寶賛美、挨拶（宋龍天（ソン・ヨンチョン）世界会長、宋光爽（ソン・グァンソク）神韓国協会会長、金起勳（キム・ギフン）神アメリカ天心苑長）、特別報告（梁昌植（ヤン・チャンシク）UPF 世界議長）、特別映像（神韓国トップガン）、孝情賛美、天心週刊ニュース（ウム・インヒョク企画チーム長）、メッセージ（李基誠（イ・ギソン）天心苑長）、合心祈禱、特別賛美、合心共鳴祈禱、祝禱（玉允豪（オク・ユンホ）天心苑特別巡回師）の順で行われた。

開会式

二日目、キム・サンオ文化広報チーム長の司会で行われた大役事の開会式は、開会宣言、代表報告（方相逸（バン・サンイル）事務総長）、大役事特別映像、開会の辞（李基誠苑長）、天一国孝情体操、賛美が行われた。

李基誠天心苑長は開会の辞で、天地人真の父母様の天寶摂理と天寶家庭の使命について強調し、「真のお母様が天一国 12 年勝利のためにはまず邪悪な運気を吹き飛ばさなければならないと言われた意味は、天心苑の精誠によって、個人にあった暗い霊的な運気を整理し、真の子女の姿に生まれ変わることを望んでおられるということだ。」と説明した。また、独り娘・真のお母様の実体聖霊の役事を通して、恩恵と祝福と奇跡の役事が成就する大役事となることを祈願した。





この日の大役事は、1 部で孝情奉献式が行われ、2 部では天心舞公演、告天感謝文奉読、孝情奉献式、天心合心共鳴祈禱が行われた。

李基誠天心苑長は「勝利された天地人真の父母様！この地に錨を下ろされてからはや 53 周年！大きな山のような精誠を捧げられ、天上と地上で直接主管される実体聖霊の役事を完成され、自動的な天寶役事が成就されるようになりましたので、独り娘・実体聖霊・真のお母様と絶対的に一つになって、如意宝珠をくわえて、青龍のように飛翔する祝福家庭、子女とならしめてくださることを切に望みますので、どうか役事してください。」と切に祈った。

孝情奉献書は、天心苑特別巡回師を中心とした 8 人の修鍊苑代表公職者が入場し、祝福家庭の精誠と公的なみ旨成就のために心を込めて奉献された。

続いて神統一世界安着のため、天の父母様、真の父母様に従って真の子女としてみ旨の道を前進していくという切なる心情を報告し、天心合心共鳴祈禱が続いた。

初日に続いて、二日目(2 月 17 日)の午後 10 時から翌日午前 1 時まで、キム・ジュファン天心苑チーム長の司会で第 972 回天心苑特別徹夜精誠が続けられた。この日の徹夜精誠は、ビジョン 2025 勝利に向けた新たな出発の決意を固める祈禱会とし





て、開会祈祷、天寶賛美、孝情証詞（天心苑の恩恵証詞公募の受賞者：まつばらかな、えんどうさとこ食口）、孝情賛美（天心グローバルアゼリア）、孝情報告（ジョン・ユサン教育局長）、孝情賛美（霊性 40 日修練生）、メッセージ（李基誠天心苑長）、合心祈祷、特別賛美、合心共鳴祈祷、祝祷（金仁天（キム・インチョン）神アジア太平洋分苑長）の順で捧げられた。

会場プログラム

愛の樹バスキング（路上ライブ）、似顔絵イベント、孝情オーケストラ公演

HJ 天宙天寶修鍊苑は、今回の大役事において孝情天苑の聖地

巡礼期間として、大役事の会場を訪れた食口たちに様々なプログラムを通して、家族大和合の時間とイベントを提供した。天一国文化享受プログラムの「似顔絵イベント」と「愛の樹バスキング」は、オンラインとオフラインを含め 1,500 人以上が参加する中で行われ、孝情オーケストラ公演はデビッド・イートン（孝情文和苑指揮者）の指揮で、統一家の 2 世 3 世の孝童たちによる交響曲メドレーの演奏へと続いた。

この日の孝情オーケストラ公演は、真のお母様への孝情を込めた自作曲の演奏とともに「私たちの願いは統一」の歌を斉唱し、真のお母様に侍って一日も早く神統一韓国を成し遂げるという強い願いを胸に深く刻ませてくれた。🎵



神南米青年学生 孝情 21 日特別修練会

神南米青年学生孝情 21 日特別修練会（以下、神南米 21 日修練会）が、天一国 11 年天曆 12 月 22 日から天一国 12 年天曆 1 月 14 日（陽曆 2.1 ~ 2.23）まで、HJ 天宙天寶修鍊苑で行われた。真のお母様のみ言を中心に HJ 天宙天寶修鍊苑と神南米が主管して開催した今回の修練会には、神南米の 10 カ国から青年 300 名（2 世 197 名 / 1 世 103 名）が参加した。

初日の開会式は、HJ 天宙天寶修鍊苑のチョン・ユサン局長の司会で開会祈祷（キム・ソンナム神南米分苑長）、歓迎の挨拶（サミュエル・オタ・リンヒャレス神南米青年会長）、激励の挨拶（キム・ドンウ神南米大陸会長）、防寒用品伝達式（チェ・ヨンソン世界平和女性連合韓国会長、ソン・ファジン事務総長）、メッセージと祝祷（イ・ギソン天心苑長）が行われた。

サミュエル青年会長は歓迎の挨拶を通じて「今回の 21 日修練会で真の PURE WATER として生まれ変わることを願う。」と伝えた。

キム・ドンウ大陸会長は激励の挨拶を通じて「こうして奇跡のような結実として、すべての修練生が HJ 天宙天寶修鍊苑に来れるよう、愛で導いてくださった天の父母様と真のお母様に感謝する。」とし、「天一国 12 年、真のお母様を中心に新たに出発する 2 世天一国指導者たちが天運をつかんで真のお母様と一つになる 21 日間の時間を過ごせるよう願う。」と呼びかけた。

続いて、イ・ギソン天心苑長は「南米修練生は家庭盟誓の 1 節を成就するために来た。復帰されたエデンの園である HJ 天宙天寶修鍊苑で、創造本然の人間の先祖である真の父母様に会ってほしい。」と述べ、「神南米 21 日修練会後は、自分でも驚くほど生まれ変わったという経験を必ずしてほしい。」と述べた。



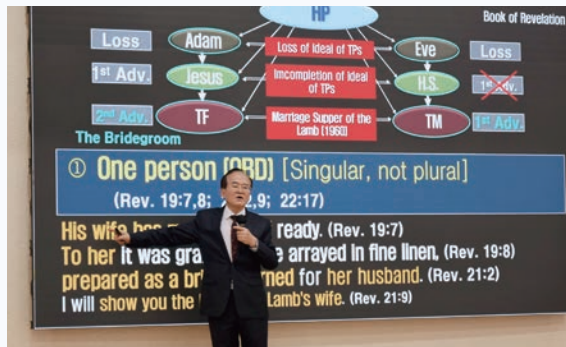


その後、チェ・ヨンソン世界平和女性連合韓国会長から、韓国世界平和女性連合が心を込めて準備した防寒用品が渡され「真のお母様の未来世代に対する関心は誰とも比較できないものである。」とし、「21 日という期間で、珠玉のような名言と感動的な内容を心にしっかり刻んで、帰国後も南米はもとより、世界の中心人物になることを願っている。」と激励した。

神南米 21 日修練会の修練生たちは、6 日間の原理教育を通じて天の父母様と真の父母様の前に縦的に正しく立ち、3 日間の聖地巡礼と歴史文化探訪で真の父母様の生涯と業績と心情を相続し、その後摂理の指導者たちと HJ 天宙天寶修練苑の講師陣から多くのことを学び、共に経験し自ら成長していけるプログラムによって、天の父母様と真の父母様の前に絶対愛・絶対信仰・絶対服従の姿勢を確立する時間を持った。

修練会の最後には、特別に真のお母様が神南米修練生と神トップガン 1 期生と一緒に「真の父母様の位相価値定立教育」を受けられる貴い恵みの場を用意してくださり、修練生たちはビジョン 2025 に向けて最善を尽くすと抱負を述べた。🌀





神統一韓国と神統一世界のための デスバレー特別聖塩伝授式

天地人真の父母様の限りない精誠と驚くべき恩賜の中で、「神統一韓国と神統一世界のためのデスバレー特別聖塩伝授式」が、天一国 11 年天曆 12 月 23 日（陽 2.2）、天心苑で開かれた。

デスバレー特別聖塩伝授式は、「天一国聖塩にデスバレーから持ってきた塩を混ぜて、全世界の指導者と食口に広く分配しなさい」という真のお母様のみ言に従って天の愛と恩恵が直接届く天心苑で行われた。

この日の伝授式には、真の御家庭と天一国指導者、修練生、そして徹夜祈祷に参加するために訪れた祝福家庭など 200 人余りが参加した。

伝授式の行事は、開会宣言、敬礼、報告祈祷（梁昌植 UPF 世界議長）、み言（宋龍天家庭連合世界会長）、聖塩繁殖（天一国指導者）、祝福、伝授宣布、敬礼の順で行われた。

梁昌植世界議長は全体を代表して、



「真の父母様の聖婚を基点に聖塩が与えられ、分別して聖別して天のものとして取り戻した天の役事に感謝する」と語り、「生命を探すことのできない、最も低い場に行かれ、新しい生命を宿すことで、また別の摂理を出発される真のお母様の愛にお応えしたい」という誓いの報告祈祷を捧げた。

梁昌植世界議長の「デスバレー特別聖塩」の意義と価値に対する説明の後、李基誠天心苑長を中心に、右側には文妍娥（ムン・ヨナ）総裁秘書室第 1 室秘書室長と、鄭元周（チョン・ウォンジュ）総裁秘書室第 2 室秘書室長が、左側に

は宋龍天（ソン・ヨンチョン）家庭連合世界会長と宋光奭（ソン・グァンソク）協会会長が立った状態で、特別聖塩の繁殖が伝統と礼法により進行された。

祝福は 1 月 13 日、デスバレー聖地で与えてくださった、真のお母様の祝福で準備され、天上の絶対善霊と地上の祝福家庭が見守る中で、真のお母様が相続してくださった「デスバレー特別聖塩伝授」が宣言された。

今後、デスバレー特別聖塩は、真の父母様の聖誕節を中心に、各大陸会長と神トップガン出征式の時に、世界宣教師として派遣される青年宣教師を通じて、全世界の食口に繁殖される予定だ。☞



UPF International、 リベリア・タイ・カンボジアで 平和の基盤構築

梁昌植（ヤン・チャンシク）天宙平和連合（UPF）世界議長は、天一国 11 年天曆 12 月 10 日から 12 月 19 日（陽曆 1.20 ～ 29）まで、リベリア、タイ、カンボジアを電撃訪問し、真のお母様の平和思想を中心とした UPF の基盤を強化することに力を注いだ。

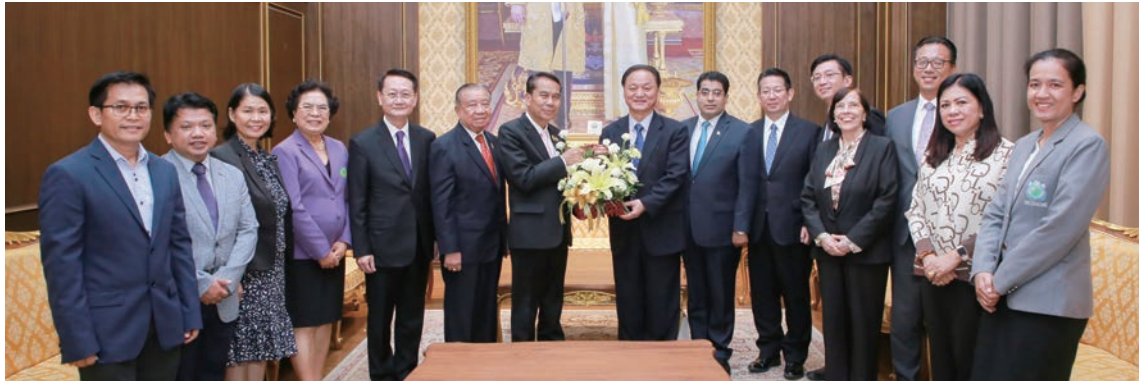
まず、梁昌植世界議長は 1 月 20 日、リベリアで国家学生連合（LINSU）をはじめとする様々な青年団体長と会い、青年リーダーシップと青年の社会進出支援のための協力方案を話し合い、1 月 22 日には UPF の代表団と共に新任大統領の就任式に出席し、ジョセフ・ボアカイ大統領の当選を祝う真のお母様のメッセージを伝えた。また、梁昌植世界議長は UPF とリベリアの関係発展を非常に重視していると述べ、ジョセフ・ボアカイ大統領に神統一世界と神統一韓国のための今後のリベリアの主な役割についてアピールした。

ジョセフ・ボアカイ大統領は 2006 年の天正宮入宮式とワールドサミットにも参加していて、天地人真の父母様にご挨拶したことがある。

その後、梁昌植世界議長はリベリア家庭連合の本部を訪問し、摂理の指導者と食口たちに会い、真のお母様の動静とみ言を共有し、リベリアの国家復帰の基準を実質的に達成できるよう心から励ました。

梁昌植世界議長は 1 月 26 日、アジア UPF の指導者と共にバンコクを訪問し、スティン・クルンサン（Sutin Klungsang）タイ国防大臣と会談を行い、世界平和に尽力される真の父母様の業績について説明した。ステ





イン大臣は、真の父母様の UPF 創設と世界的な業績に敬意を表し、韓半島の平和統一とアジア太平洋ユニオンに対する真のお母様の努力と精誠を支持するという意向を伝えた。

タイを訪問した梁昌植議長は 1 月 27 日、バンディット・マライ・アリ・スン (Bandit Malai-ari-soon) 韓国戦争参戦勇士協会協会長と面談し、バンコクにある韓国戦争参戦勇士記念碑で献花式を行い、UPF タイ平和大使館で「国連世界宗教間調和週間」の記念行事で、宗教間の調和と協力に対するビジョンを中心に天地人真の父母様の平和運動の業績に関するテーマ発表を行った。

また、梁昌植世界議長は、ロッテ奨学財団と共に 1 月 25 日にカンボジアのトゥマル・クレ小学校を訪問して、学校関係者と児童約 1,300 人が出席する中、業務協約式とホワイトボード (黒板) 支援式を行った。この日、梁昌植世界議長は「各国の成長と発展に貢献することを目標に、様々な国の児童が支援を受け、自国の発展をリードしていくグローバルリーダーとして成長できるよう支援する予定」と語った。

巡回訪問の最終日である 1 月 29 日、梁昌植世界議長は、カンボジアの国王諮問会議最高会議議長で人民党の議長を務めるフン・セン (サムデク・アッカ・モハ・セナ・パデイ・テチョ・フン・セン) 党首と会談するため、人民党本部庁舎を訪問した。この日、フン・セン議長は特別に真のお母様に感謝の気持ちを伝え、梁昌植世界議長と人材育成への貢献や様々な内容について話し合った。

丁重なもてなしの中で行われた梁昌植議長と UPF 代表団の訪問は、カンボジアの現地メディアなどが注目する中、マスコミ各社の主要記事として報道された。📰



国際宗教の自由サミット 2024

「国際宗教の自由サミット 2024」が、ワシントン DC で、天・国 11 年天暦 12 月 20 日から 21 日（陽暦 1 月 30 日～31 日）まで、ワシントン・タイムズ財団、宗教界・学界の指導者を含む 1,500 人が参加する中、盛況裏に開催された。

3 日間にわたって行われた行事では、3 回の分科セッションが行われた。初日は、開会式及び「IRF SUMMIT」に関する全般的な内容が紹介された。2 日目は分科会 I（IRF とは何か？）と分科セッション I（中道の少数民族、戦争及び紛争時の宗教の自由侵害、法と宗教）に関する発表 & 討論の時間が持たれ、続いて分科会 II（国家安全保障の脈略からみる IRF、現代文化の脈略からみる IRF、人権の脈略からみる IRF）と分科セッション II（IRF 及び交差性、監視国家での違反、IRF のための革新、グローバル次元での IRF の勝利）では、関連内容の発表と討論が行われた。





この日、マイク・ポンペオ元アメリカ国務長官は映像での祝辞で、平和を追求することのできる行事を主催してくださった真の父母様のリーダーシップと献身に深い感謝を述べ、「宗教の自由を否定するどの政府も没落するしかない。私たちは基本権に対する明白な脅威に共に立ち向かわなければならないし、宗教の自由の確固たる擁護者になるべきである。」と力説した。また「宗教の自由はすべての信仰と良心のある人々が受け入れる普遍的な共有価値である。」と所信を述べた。

ニュート・GINGGRITCH元アメリカ下院議長も映像での祝辞で「ワシントン・タイムズ財団とUPFが主催した午餐会で演説できることを大変光栄に思う。」と感謝を述べた。

GINGGRITCH元議長は「アフリカやインド、中国の抑圧から、私たちは宗教の自由に対する脅威を認識することがいかに重要であるかが分かる。したがって、宗教の自由の危機克服を助ける今回の特別午餐会は非常にタイムリーで重要である。」と述べた。

GINGGRITCH元議長は「宗教の自由を守ることが、未来のための非常に重要な事案である。私と私の妻 キャリスタ (元バチカン大使) は、人間の尊厳を守るためには、世界中で宗教の自由を主要なプロジェクトにしなければならないと考える。」と強調した。🇺🇸



世界日報創刊 35 周年記念式

『世界日報創刊 35 周年記念式』が天一国 12 年天曆 12 月 22 日（陽 2024.2.1）、ソウル中区ロッテホテルソウルで大韓民国与野党指導部、経済・社会副総理など政官界をはじめ各界主要 VIP 約 500 人が参加する中で、盛況裏に開かれた。

シン・ヨンイルアナウンサーの司会で始まった記念式は、今回の創刊 35 周年を踏み台に、もう一度名実共に「世界を見る目、グローバルメディア」に飛躍しようとする世界日報への祝賀と激励の声で溢れていた。

世界日報の創立者であられる、真のお母様は文妍娥（ムン・ヨナ）総裁秘書第 1 室秘書室長が代読した激励の挨拶を通じて、「既存の人間中心的世界観、特に男性中心に始まった力の論理、権力と強圧の歴史ではなく、母なる神様の母性愛が明らかになり、女性性の意味と価値を再発見する『愛と平和』の態度に転換しなければならない時代的要請に直面している」として、「このような文明史的転換の流れを感知しながら、私たちは今新しいパラダイムと想像力で、国家のビジョンを模索しなければならない」と強調された。真のお母様は「それを私は神様を中心とした神統一韓国、神統一世界として提示した。今後も創刊理念を中心に、世界日報が力を尽くす頭翼統一運動と真の家庭運動、孝情文化芸術運動と韓半島平和運動などに格別な関心と御指導御鞭撻のほどをお願いしたい」と述べた。





尹錫悦 (ユン・ソンニョル) 大統領は映像祝賀メッセージを通じて、「世界日報は 35 年間、歴史の現場を守りながら真の言論の道を歩み、様々な見解を盛り込んだ公正な記事と各分野を指摘する深みのある探查報道で大韓民国が進むべき道を提示した」と明らかにした。

続けて、「今後、私たちの社会が直面した挑戦課題を解決していく上で、世界日報が大きな役割をしてくれると期待する。公正と自由の価値が大韓民国に溢れるように、世界日報が先頭に立ってほしい。新しい未来に向けてさらに大きく飛躍することを願う」と伝えた。

同日、鄭熙澤 (チョン・ヒテク) 世界日報社長は、「世界日報創立者の文鮮明・韓鶴子総裁は 1991 年に北朝鮮を訪問し、金日成主席に会った。この時、第一歩を踏み出した統一、自由世界の道を世界日報が先導的に開いていくだろう」と話し、「神統一韓国の中心になる」と明らかにした。

鄭熙澤社長は先月 (2024.1)、アメリカのラスベガスで開かれた世界最大家電・情報技術 (IT) 展示会「CES2024」で世界日報がドローンサッカー大会を開催した事実を紹介し、「新しい時代に出遅れず質的、量的に発展しながら、名実共に総合メディアグループとして跳躍する」という抱負も明らかにした。

また、「今後も正論・直筆の厳重さと責任感を再確認し、共生・共栄・共義の実現と事実報道を追求する言論、道徳と責任を全うする言論になることをもう一度誓う」と付け加えた。

真の父母様は世界日報を 1989 年 2 月 1 日、「愛天・愛人・愛国」を社是とし、「祖国統一の正論、民族の気概の発揚、道義世界の具現」を理念に掲げ、創刊された。 

HJ一和タワー 奉献式

飲食料健康企業の一和が、天一国 11 年天曆 12 月 14 日 (2004.1.24)、ソウル江東区高德ビズバレーに位置した新社屋 HJ 一和タワーで奉献式を開催した。

奉献式には、世界平和統一家庭連合の韓鶴子総裁と、鮮鶴学園の文妍娥 (ムン・ヨナ) 理事長、孝情国際文化財団の文薫淑 (ムン・フンスク) 理事長、鄭元周 (チョン・ウォンジュ) 第 2 秘書室秘書室長、世界平和統一家庭連合の宋龍天 (ソン・ヨンチョン) 世界会長、世界日報の鄭熙澤 (チョン・ヒテク) 社長など、約 100 人の関係者が参加してその場を輝かせた。

記念式は開会宣言、敬礼、花束捧呈、除幕式、真の父母様の祝祷、テープカット、記念撮影の順で行われた。

この日、真のお母様は高德ビズバレー (江東区高德 2 洞) (株) 一和新社屋の奉献式に参加し、国民と人類のために一和の多大なる発展を祝願した。



祝祷

愛する創造主、天の父母様！

きょうを許諾されたことを、心より感謝申し上げます。

一和が国民の健康を、世界人類の健康のために出発して来ながら
多くの実績をまた天の前に奉献しました。

きょう、この日の摂理完成時代に中心的役割を果たす

2世圏、3世圏が1世と完全に一つになった場所で

この日を、この一和本社を奉献したことにより、この国はもちろん

全世界の前に、本来一和がその本質を完成させるにあたって

さらに発展していくことの出来る

そのような2世圏の指導者、キム・ユンジン代表と全職員が一つとなり

天の摂理の完成時代に、全世界人類の前に一和の本質、真のみ旨を

愛天、愛人、愛国の実践を担当している一和の誇らしい姿として

発展していく、きょうとなることの出来る、この日のために苦勞したすべての手を記憶してください。

今、この建物の主人は天の父母様であられます。

あなたがこの民族を健康な民族として、健康な世界人類が天の父母様をお迎えるその日まで、責任を
全うする一和全体の役員、食口たちになることの出来るよう、祝福される、きょう一日となることが出
来ますように、真の父母の名で祝願、声援致します。アーデュ。



一和のキム・ユンジン代表理事は挨拶を通じて、「きょうは1971年創立当時、ソウル城東区で始まった一和の約50年の努力が結実を収める場だ」として、首都圏経済拠点になる高德ビズバレーで100年間継続するグローバル企業として跳躍する成長動力を構築したい」と明らかにした。

一和は「人類の健康と幸福を追求する」という創立理念をもとに、飲食料、健康機能食品、製薬事業など世界約40カ国に様々な製品を輸出している。

昨年末、南アフリカ共和国に麦炭酸飲料のメッコールを輸出した事に続き、今年はアフリカ地域への輸出品目を拡大し、米国や欧州、東南アジアなど、全世界に事業領域を拡大している。🇳🇵

第 3 回国際孝情学術大会

孝情学術苑が主管し、鮮文大学、鮮鶴 UPA、鮮鶴学園、清心学園、統一思想研究院、世界平和教授協議会、天宙平和連合、孝情マグノリア医療財団が共同後援する「第 3 回国際孝情学術大会」が韓国、日本、台湾など 15 カ国から 230 人が参加する中、天一国 11 年天曆 12 月 22 日から 24 日 (2024.2.1 ~ 3) までオンラインで開催された。

テーマごとの論文発表では、共生・共栄・共義 (24 編)、統一医学 (5 編)、平和と統一思想 (6 編) の主題で合計 53 編の学術発表が行われた。

この期間、「聖和とは何か」(細田亮、はもればクリニック - 日本)、「コルチコステロイド (副腎皮質ホルモン) を用いた CYP 106A 系の活性把握と構造の検討」(キム・ギファ、オ・テジン、鮮文大学 - 韓国)、「アレルギー性鼻炎に対する鍼治療法」(ショヒン・アラビ・モグハダム、イ・サンヒョン、ウォング大学 - 米国)、「科学に基づいた宗教は形成できるのか？その逆はどうだろうか」(ラリット・モハン・ククレジャ・デッティ・アラパット・パトロセ、エビ知識財団 - インド) が特に注目された。

一方、未来人材育成のために 43 歳以下の学者が 40% 以上の割合で参加した国際孝情学術大会は、今後、2 世中心の青年学者を育成する足がかりとなることが期待される。

孝情学術院をはじめとする後援団体では、2 世を中心とした新進学者の自発的な参加を誘導し、天一国の理想実現にどうしても必要な神主義の学問を構築していく責任を果たしていく決意を表明し、8 月 22 日 ~ 24 日まで行われる第 4 回国際孝情学術大会では 100 編以上の学術論文発表が行われると伝えた。🌀



「邪必帰正」 何事でも結局は正しい 道理に従って帰る

天苑大教会 チョン・ソンミン 教会長



新年最初の礼拝である今日、私は「邪必帰正」というタイトルを持って、食口の皆さんと一緒に恩恵を分かち合おうと思います。まず、真のお母様の御言を奉読しながら始めたいと思います。去る 2024 年 1 月 1 日に下さった御言です。

「甲辰年。天一国 12 年は、今までのすべての邪悪な気運を吹き飛ばす青龍の年です。来たる完成数 13 年には、天苑宮天一聖殿の入宮式を行います。これを準備して仕上げるすべての面に影がないようにしなければなりません。邪気が去るように天が祝福の白い雪を降らせてくださったように、今年一年がとても重要です。... ですから完璧に整理整頓され、秩序が成り立った状態で、希望に満ちた天一国 12 年を迎えるために総進軍しなければなりません。アージュ」

今日私は、2024 年 1 月 1 日に下さったこの御言を見ながら、天一国 12 年が新たに出発するこの時間、天一国 12 年をどのように出発し、どのように始めればいいのかについてお話をしたいと思います。

私たちの人生を映画の一編に例えてみるのがよくあります。そこで一緒に頭の中で描いてみたいのですが、食口の皆様の素晴らしい人生が作品となる映画があると仮定してみたいと思います。ここにいる食口の皆様は全員、映画の一編一編の主人公として、素敵で美しい役割を果たしています。そのように皆さん一人ひとりが映画の主人公として立たされているとしたら、その映画を総括している監督もいると思いますが、この監督は誰になると思いますか？すべてのことが出来て、すべてを知っている、全知全能の監督であられる天の父母様、そしてその実体として来られた真の父母様ということが出来ると思います。

有名なスティーブン・スピルバーグよりも、ジェームズ・キャメロンよりも有能で、完璧で、素晴らしい名監督が、私たちを主人公として立てて映画を撮影していらっしゃいます。

さてそのような監督がいるとすれば、その監督を手伝って補佐してくれる人もいるでしょうね。照明監督やオーディオ監督、あるいはカメラ監督など、様々なスタッフがいます。ではこれらのスタッフは、誰のことだと説明できると思いますか？はい、それは天軍天使であり、絶対善霊であると説明することができると思います。そして食口の皆様のご先祖様もここに含まれるでしょう。

このような素晴らしいスタッフが監督を補佐しながら、監督と共に私たちが主人公として立てられたこの映画を、素敵に撮れるように最善を尽くしています。そのように役事をしてくれているのです。

さて、これで映画を撮るためのすべての準備は終わりました。監督とスタッフも完璧な準備をしてくれました。今、主人公である私たちが演技を始めようとしています。何かが足りないような気がします。それは何でしょうか？

はい、「台本」が抜けていました。主人公がやるべき役割が細かく書かれている台本、とても分厚いですが、明快に書かれている台本。この台本を一枚一枚めくりながら、どんな内容が書かれているのかを見ていきたいと思います。

1 ページ1 ページ見ていくと、この台本には監督の意図が込められています。そしてこの台本には、監督の願う夢があり、目的が込められています。監督はもちろん、すべてのスタッフはこの台本に沿ってすべてを準備してくれました。場所取りも台本に沿って準備されました。小道具、カメラ、照明、これら全ても台本通りに準備されていました。そして、主人公がやるべき役割もとても細かく書かれていました。

この台本とは、何でしょうか？ [はい、み言です！]

天の父母様、真の父母様が企画・演出されるこの映画は、全てがこの台本、御言によって準備され、実行されます。では、主人公である私たちは何を見て演技をすればいいのでしょうか？台本、御言です。この御言を見ながら、御言によって行動し、御言によって実践すれば、主人公である私たちは、少し不十分で稚拙かもしれませんが、最高の監督と最高のスタッフと最高の台本があるので、私たちは素晴らしい映画を撮ることができるのです。そしてそのように監督も準備してくださっていると思います。

これに関する聖書の一節を見ましょう。

「(マタイによる福音書 4 章 4 節) イエス様が答えて言われた、人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉で生きるのである。」

人がパンだけで生きるのではなく、何で生きるとありますか？御言で、御言を中心にして生きなければならない！と独り子イエス様は強く言っておられるのです。

真の父母様も短いですが力強く語られています。「御言を絶対生命視しなさい。御言に絶対服従すればいいのです。(021-176)」と力強く、また深刻に御言の重要性について言及してください

っています。ところで真の父母様はさらに進んで、天一国憲法でもこのように制定してくださいました。

天一国憲法第2章2節27条「祝福家庭の義務」

1. 祝福家庭は真の父母様の伝統を受け継ぎ、これを継承するための侍る生活をしなければならない。
2. 祝福家庭は模範的な品格を備え、真の父母様の御言による絶対信仰・絶対愛・絶対服従の生活をしなければならない。
3. 祝福家庭は真の父母様の家庭を尊敬し、保護しなければならない。

このように天一国憲法に明記されています。どれも重要な項目ですが、「真の父母様の御言に絶対信仰・絶対愛・絶対服従の生活を送らなければならない」と、法として制定されているほど、御言通り、台本通りに生きることを願われる、強力な御言を私たちにくださっているのです。

その分、この台本というものが映画の中でどれほど重要な役割を果たしているのか、私たちは知ることができます。この御言が私たちの生活の中でどれほど大きな影響を及ぼしているのか、どれほど貴重で尊いのかを、真の父母様が語られ、語られ、何度も語られているのです。

親愛なる食口の皆さん、

私たちが主人公として立てられたこの映画は、最初から最後まですでに計画されています。最高の監督を中心として、すべてのスタッフが監督とを中心として、すでに台本通りにすべてのことが準備され、計画されています。それぞれの映画の主人公である私たちは、他のものを見る必要はありません。この台本だけをよく見ていればいいのです。この台本を見ながら、監督が何を望んでいるのか、何を意図しているのか、何を表現したいのかを正確に知り、その通りに実行するだけで、その映画はきっと大ヒットすることができるということです。

さてそれでは、これから主人公である私たちが台本を広げて演技をしなければならないのですが、その台本の中には何が書かれているのでしょうか？気になりますよね？そのような観点から、先ほど訓読した御言をもう一度見てみましょう。

私は真のお母様のこの貴重な御言を、このように三つにまとめてみました。

1. 天一国 12 年は、過去のすべての邪気を吹き飛ばす青龍の年である。
2. ところで天一国 13 年は、天苑宮入宮式のために、すべての面に影があってはいけない。
3. そうなので天一国 12 年には完璧に整理整頓をしなければならない。

と御言を整理することができると思います。これは結局、天一国 12 年、今年はすべての面で完璧に整理整頓をしなければならない年である、と結論付けられると思います。

私は真のお母様のこの御言を見て、一つの諺が思い浮かびました。それは「事必帰正」という諺です。今日の説教のタイトルに関連する事必帰正ですが、この事必帰正の意味は「どんなことがあっても、最終的には正しい理屈で正しいものに戻る」という意味です。すべての間違ったことを整理整頓しようとする真のお母様の御言と一致しますね。ところで、私はここで最初の文字である「事」という漢字を「邪」に変えて、諺の漢字を本日の説教のタイトルである「邪必帰正」にして見たいと思います。

この「邪必帰正」という言葉の意味を解釈してみると、邪悪なものは必ず正しいものに戻るという意味になります。人類が墮落して悪いもの、邪悪なものになったそのすべてのものを、すべて正しいものに整理して、天の父母様に再結合させたいという、真のお母様の切実な願いが込められた言葉になると思います。

では真のお母様は、この切実な心情で、これまでどのようなものを整理し、整頓して、摂理を導いてこられたのでしょうか。

1. 神様を天の父母様として整理してくださいました。
2. 真のお父様の御言選集 615 巻を、三大経典として整理してまとめてくださいました。
3. そして、天寶家庭を通じて、天寶家庭の過去と現在と未来をきれいに整理してくださいました。
4. 北朝鮮同胞の特別中心霊解怨を通して、霊界が役事できる条件を立て、中心霊を整理して南北統一の運勢をもたらすというみ言を下さいました。
5. デスバレー聖塩の繁殖を通して、分別し、分立し、整理し、整頓して、多くの塩のような義人を輩出し、天の父母様が役事することのできる環境圏を拡大してほしいという貴重なみ言を下さいました。
6. 天苑宮天一聖殿の入宮を一年後に控え、天の真実（真のお父様と真のお母様は、再臨メシヤと初臨の独り娘）を明らかにしてくださいました。
7. 純白、純血、純金の位置に進むことができるように、天心苑という貴重な贈り物を下さいました。

愛する食口の皆様。

真のお母様は摂理の完成のために、砂嵐が吹く砂漠の真ん中でも、小さな針一つを探すようなそのような懇切な心情で摂理を導かれ、絡み合った糸を一つ一つ解きほぐしながら整理し、整頓してくださいました。そして、間違っつけられた最初のボタンを解きほぐされ、もう一度一つ一つボタンをつけながら、天の父母様に捧げる聖布を準備しておられるのです。

このように真のお母様はさまざまな領域で全方位に渡り、邪悪なものを追い出し、整理し、整頓しながら、「邪必帰正」の摂理を成し遂げておられます。

お母様の御言を一節奉読させていただきます。

「誰よりも真の父母様の環境圏に住むべき祝福家庭が健康で、真の父母様の前に孝子孝女忠臣になることを願っていましたが、その切実な願いを天が許諾され、清平を中心にして聖霊の役事を始めることになりました。基元節を通じた新しい時代の新しい役事は、真のお母様、独り娘、実体聖霊の役事として清平を動かしています。...ここに来て、皆さんが聖霊の役事を受け、皆さん自身はもちろん、皆さんの三代圏、過去・現在・未来を健康な天一国の民として、欠点のない姿にしなければなりません。...皆さんの環境は墮落圏内にあるので、頻繁にここに来て、皆さんの心と体を健康にしなければなりません。(2017.11.4.)」アジュー！

真のお母様は「私だけ残されました」と語られながらお一人で摂理を陣頭指揮されるのもどれだけ大変だったのでしょうか？一日を千年のように過ごされ、天倫的な摂理を導いておられる中でも不足している私たちに手を差し伸べて下さり、立てて下さり天心苑という奇跡のような貴重な場所を通して傷と汚れのない姿で、健康な姿で整理整頓され、生まれ変わるように大きな祝福を下さったのです！このような貴重な祝福を下さった真のお母様に、感謝の拍手を捧げましょう。

ありがとうございます。真のお母様は、私が言及したこと以外にも私たちが分からない、想像もできないような摂理を陣頭指揮され邪悪なものを追い出し、整理し、整頓するという‘邪必帰正’の摂理を進行しておられるのです。

愛する食口の皆様。

真のお母様は去る 2024 年 1 月 1 日の御言を通して、天一国 12 年にはこのようなシーンを撮るだろう、と私たちに台本を渡してくださいました。それでは私たちは、主人公としてどうすればいいのでしょうか。

まずは、台本を読まなければなりませんね。一生懸命に読んで、私はこの役割をどのように遂行していくか研究もし、頭の中で絵も描いてみながら、実践に繋げなければなりません。台本通りに動かなければなりません。

そうやって動いて実践して、映画の次の場面と言える 2025 年はどんな年ですか？天苑宮天一聖殿の入宮式が行われ、真の父母様が昼の神様として体現される聖なる年です。

そして来年は光復節 80 周年だそうです。来年のビジョン 2025 を勝利し、国家復帰を勝利して、天の父母様の国がこの地に現れ、再び光復が成就する栄光の年になるでしょう。

そして天一国 13 年、創造完成数である 13 数を迎え、基元節を皮切りに天一国という創造本然の世界が完成される、非常に意義深い年になります。ですから真のお母様は、今年が重要だと言われるのです。二度と来ないこの貴重な年を勝利的に迎えるためには、今年、天一国 12 年の今年、あらゆる面で傷と汚れを取り除き影もないように整理・整頓しなければならないと言われたのです。つまり、邪悪な気を完全に追い出す、邪気を完全に追い払う「邪必帰正」の年でなければならないと言われたのです!!!

愛する食口の皆さん、

今日のこの時間を通して、真のお母様が天一国 12 年、真のお母様がどのような御旨、願いを抱いておられるのか、少しでも悟ることができるようなれることを願います。私たちが主人公として何をしなければならないのか、少しでも心情に少しでも届くことを切に願います。

私たちの天の父母様、真の父母様に侍り、真のお母様が導き、導き、摂理されるすべての事柄に積極的に同参し、結果を生み出して、素晴らしい主人公として責任を果たし、今回の天一国 12 年、邪必帰正の姿勢で実を結び天一国 13 年を大勝利することができる、素敵な主人公となれることを祈ります。ありがとうございました。🌸





천지인참부모님 주관 신탐건 제1기 출정식
1st Class of Heavenly Top Gun Kick-off Ceremony Hosted by the True Parents of Heaven, Earth and Humankind
天地人眞の父母様主管神TopGun第一期出発式
천일국 12년 1월 13일 (2024. 2. 23) Feb. 23, 2024